

日本での交換留学

ブレーメン大学

マコータ・サンドラ

私はブレーメンの大学から来た、マコータ・サンドラと申します。2022年10月1日に日本に来ました。家族からそんなに遠くいるのは初めてでしたから、怖かったです。日本に来る前に、2年間日本語を勉強したけど、日本語で話すのが上手じゃなかったの、私の目標は日本語で上手になることです。

日本に来る前に、当て事や計画などありました。例えば、旅行をしたくて、日本人と友達になりたくて、全部の授業で合格したいと思いました。そのすべてを果たすのは、私が思っていたよりも困難でした。

日本の生活と学生生活はドイツの生活より全然違います。それで、日本での生活に慣れるのが難しかったです。ドイツの大学で出席が必要じゃなくて、試験を合格したら、授業も合格しますが、日本の大学で出席は大事なことです。でも、日本での生活に早く慣れたと思います。音羽館に住んでいるのおかげで、困ったことがあればいつでも管理人を相談できるので、慣れやすかったと思います。その以外に、最初の週は一番難しいと思います。印象や、やるべきことがたくさんありましたから、本当に圧倒した、悔しかったです。いろいろな感情がありました。今、最初の週について考えるとちょっと変です。宇宙人のように感じました。でも、日本での生活に慣れたか、ほとんど気がつきませんでした。

留学をする中、色々な良くも悪くも思い出がたくさんできました。私の一番好きな思い出はお茶大のバレーボール部です。日本に来る前から、大学のサークルに入りたかったです。お茶の水女子大学で多くのサークルがあるから、決めるのがちょっと難しかったです。 「ハイキュー」と言うの日本のアニメが大好きだから、バレーボール部に入りたかったです。メンバーはいつでも気長で、優しかったです。いい友達になったと思います。バレーボールの練習はいつでも楽しかったです。大学のサークルに入ることは、友達になると、日本での学生生活について学ぶのは最も簡単な方法だと思います。ほかの好きな思い出はお茶大の徽音祭です。この週末は楽しかったです。お茶大のサークルはいろいろな売店があって、美味しい

食べ物を売りました。留学生の友達と一緒に行って、たくさん食べました。お茶大のマスコットも会えました。

私は、日本語の授業だけ受けました。お茶大で日本語の授業がたくさんあります。最初は少しわかりにくいかもしれなかったけど、すぐに慣れました。でも、分からないことがあっても、先生はいつでももう一度説明してくれて、時々英語で説明してくれました。加藤先生の日本語演習 2B の授業はいつでも楽しかったです。毎週、面白いテーマがあって、ごと授業の終わりに自分の国について小さいスピーチをしました。それで、日本についてだけでなく、いろいろな国についても多くのことを学びました。

先生、^{こくさいか}国際課の方、チューターさん、バレーボールの友達いつでも手伝ってくれてありがとうございます。皆様のおかげで、日本で留学がしやすかったです。

将来の留学生に伝えたい；日本での学生生活を本当に^{たいけん}体験したいなら、大学のサークルに参加してほしいです。サークルの活動は^{ひま}暇な時を^く食うけど、とても楽しいでしょう。

